



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会
2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

12月号会報

2013年(平成25年) 12月1日(日)

NO. 148

初めてのUSA出張

生涯局 国際担当

伏木久登

平成二十五年(二〇一三年)十一月八日午前八時、時差に少々戸惑いながらも、ロスアンゼルス空港に到着しました。アメリカ西海岸に位置するロスアンゼルスは、十一月にもかかわらず雲一つない真っ青な空で、USA初出張を歓迎してくれているようでした。手続き等で約一時間経過後、到着出口で門園美枝子事務局長と前田グレース経理部長が笑顔で出迎えて下さいました。異国の地に降り立ち、やや緊張している中で出会う笑顔は、何よりも心が柔らかくなる思いがしました。

その後、前田経理部長の運転でリトル東京へ案内していただき、全米日系人博物館を見学。十九世紀後半以降、夢と希望を持ってアメリカに渡った日本人移民の生活ぶりに触れ、さらにはその後の歴史の中で辛抱を重ねて来られた日系人の忍耐力等を新たに知ることが出来ました。(米国に関わる日本人はこの博物館は必見と思えました。)

その晩は、橋勝雄会長、門園美枝子事務局長と一緒に夕

食をとりながら、倫理研究所USAのさまざまな情報を聞かせていただき、明日以後の行事への意欲の高まりを覚えつつ、終了後宿舎であるニュー・ガーデナー・ホテルに入りました。

翌九日は、午前十時より一時間三十分、USAオフィスにおいて、純粹倫理の勉強会を(この日は「全一統体の原理」を資料を使って)十一名の方と学びました。皆さん大変熱心に学ばれ、こちらも少々時間をオーバーしてしまいました。

昼食はピZZAを皆さんと一緒に頂き、その後は飯田隆倫理ビジネスネットワークの運転のもとロス市内を案内して頂きました。夜はガーデナーに戻り夕食をとりながら今後の企業へのアプローチ等を話し合うことができました。企業へのアプローチは、ブラジル倫理の会も今後力を入れていく部門でもあり、ガーデナー等での継続的なセミナーの開催などが話題に上がりました。

十日は、今回の出張で最も重要な行事である会員総会とその後の倫理セミナーが、

やはりUSAオフィスにて行われました。二十九名の参加のもと、総会は滞りなく進行し、私はその中で倫理研究所を代表してご挨拶をさせて頂いた。今度の米国出張の所感などを述べました。

その後の倫理セミナーでは「出会いが人生を変える」とのテーマで約九十分純粹倫理の基本をお伝えいたしました。昨日同様、この日も参加者の皆様は概ね熱心に聴講してくださいました。

訪米四日目となる十一日はもうアメリカを離れる日となりました。前田経理部長、梅本豊造元会長に見送られ、後ろ髪を引かれる思いで12:00ロスアンゼルス空港を後に成田空港への機上の人となりました。

紙面の都合上、4日間の全てについて書くことができなせんでしたが、その間本当に大勢の方にお世話になりましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。まことにありがとうございます。

どうぞ、これからも皆様仲良く活動に組んでいただき、併せて倫理研究所本部と連携を密に取りながら、倫理研究所USAを益々元気に盛り立

てていってください。皆様方のご活躍を心よりご祈念申し上げます。また次回お会い致しますよう、皆様くれぐれもお元気で!

会員総会

十一月十日(日)午前八時半〜九時半まで伏木久登生涯局教育企画部部長をお迎えして会員総会を開いた。司会は門園美枝子さん。

尾崎勝宏普及部長より会員百二十名のうち委任状七十一名、出席二十九名、合計百名となり会員の過半数に達したので本総会は成立したとの報告があった。

二〇一三年度活動報告を橋勝雄プレジデント、収支決算報告を前田グレーストレジャーラーが行いそれぞれ拍手多数により承認された。

次いで二〇一四年度役員紹介の後、活動計画の発表を橋プレジデントが、予算書の発表を前田トレジャーラーが行って、これも拍手多数により承認された。

伏木部長が挨拶をされ、ロスは家庭的な雰囲気を感じられる、家庭とは共育の場であるから実践で学びあひ共に育ちましょう、倫理

とは恩返しのこと、今年度もよろしくお願い申しあげますと締めくくられた。

本部と倫理USAの一体感が得られた総会であった。

（ホン史子記）

純粋倫理探求講座

『全一統体の原理』

十一月九日（土）午前十時～十一時半、倫理オフィスにおいて伏木久登生涯局教育企画部長による勉強会が行われました。

初めに伏木部長の自己紹介があり、誕生した日が入会日という倫理家族の中でも倫理になじめず困ったときの神頼み状態の中で、実践すればことがかなう事を学んだとか。

勉強会では、実践をすると変化があるという見えない次元の統一の力がこの原理です。『全』とはすべての物、多の世界、現象界の万象をさし顕界（感覚）のこと。『一』とは目に見えず感覚的に把握できない隠れた次元の世界、幽界（神のこと）で、世界のあらゆる物事は見えない次元の一つに統合されているというのがこの原理です。

たとえば生命。人間の体はあらゆる生理現象（心臓が動く、呼吸、消化、病が治る、などなど）が調和を保ち営まれているのがその一つです。

いろんなことが知らないところで関係しあって動きが統一されて、宗教や信念に関係なく生活の実践を通して発見されたものであり感じる事ができます。

親と子の関係もその一例で隠れた次元でつながりがあり、親の心、行為が子に現れ、親が変われば子が変わるといふ、親子相関を証する反射投影なども隠れた次元でのつながりといえます。

相手と自分（彼我一体）、物と自分（物我一如）、自分と境遇（我境一対）は隔てられてはいませんが、これらも隠れた次元でのつながりといえます。

偉大な統一力によって人間は生きられます。生物を生かし万物も存在させ地球や天体、大宇宙をも統一生成している一つの統一した力（神—幽界）によって私達は生かされているということですから、と倫理の基本を学びました。そして最後に先生は、いつも明朗愛和素直な心で生活の法則

に沿って生きていってくださいと締めくくられました。

（出席者 十一名）

（氏家正子記）

倫理セミナー

十一月十日（日）午前十時十五分より伏木久登部長による倫理セミナー「出会いが人生を変える」が行われました。

朝のつどいはイモ洗い道場と同じ、……”とスポーツマン先生の大きな声で言ったことには深い意味がありました。

サトイモを桶に入れて棒でかき回して洗い、芋どうしがこすり合わさって皮をむくこと。つまり、ここは自分を鍛え上げるところで、知識を得たり高尚なことを言うところではないことを強調されました。

人生は出会いの連続で出来上がっており、これまでも、そしてこれからでもです。チョットうまくいかないとな人のせいにする。いいもわるいも原因は自分にあるのに。

その例として柔道整復師でもある伏木先生自身の臨床経験を

話されました。乱暴で自分の嫌いな患者さんのリハビリ治療です。

怖がりながらいやいやの気持ちで治療していたころは患者さんは少しもよくならなかつた。威張り散らしている嫌な人でも、ある時期から治療師自身が患者さんに対して無理をしても感謝をし、好きになつた態度をとり、ふんわりやわらかく患者さんの身になって何のこだわりもない心で治療しはじめた。それをきっかけに患者さんのからだが変わり向かい、その心も変わって治療師にかみ合うようによくなつた体験談である。

対立とか異質があるときは違いを認めて相手を尊重し、自分自ら相手にかみ合わせることで、相手も変わり、いい結果になる生活法則です。苦難の存在は異質のひとつで変わった人がいるからいいのです。嫌いなことでも嫌いな人でも、自分の心を落ち着かせて相手を尊敬し、相手を好きになるように実践

する。与えるから与えられる。感謝するから感謝される。苦しむ自分から逃げるのは、高学歴高収入をいいと思っっているからです。

『万人幸福の葉』を開いてください。「その一つでも二つでも実践してください。」お話を締めくくりもいいことばでした。有難うございました

（大竹信雄記）

懇親会

十一月十日（日）十二時より伏木久登生涯局教育企画部部长をお迎えし懇親会が開かれました。今回はチラシししをメインのご馳走として会員各々が手料理を持ち寄りました。

橋勝雄会長から伏木久登部長への挨拶と乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

お食事を共にすることは互いに心が和みます。部長と共に食事をさせて頂いたことがとても幸いに思いました。

今回も倫理セミナーに参加くださいました、非会員の方々にも懇親会への参加呼びかけをした所三名の方が応じて下さり、

会員と楽しく食事をしつつ、話をしていく姿を眼にし、とても嬉しく思いました。

最後になりましたが、橋勝雄会長より伏木久登部長に御礼の粗品を贈呈しました。

懇親会が終了し最後まで残り色々な後片付けをいそいそと笑顔でお手伝いくださった初参加の方々、ありがとうございます。心より御礼申し上げます。次回のセミナーにも是非参加頂きたいと切に思った私でした。

伏木久登部長と昼食を共にさせて頂き、親しくお話をする機会を得ました事に、心より感謝し次回も是非アメリカにお越し頂きたいと願って止みませんでした。（参加者三十二名）

内非会員三名

（梅本和子記）

朝の「講話」について

伏木部長にお伺いしました。

家庭倫理の会での講話者は、講話者として本部が認めた人以外はしてはいけないことになっています。モーニングミクサーでは講話ではなく、「倫理スピーチ」として、自分の実践報告を

もつと深く詳しく、倫理に添って話してください。とのことでした。

同時輪読の実践

十一月十七日、川田末子さんが門園美枝子さんと共に輪読しました。モーニングミクサーの『葉』輪読で、同時に二人が「はい」と言った時、今まではどちらかが「どうぞ」と言っていたっていました。しかし、それは間違いで、「はい」と答えた二人が（三人でも）一緒に輪読するのが正しいのです。これは「相手に合わせる」実践なのです。

二〇一二年に新原隆一国際部長が「何人かが同時に「ハイ」と参加の返事をしたらその人たちが声を合わせながら一緒に読む。「どうぞ」と譲ることはしない」と教えて下さっています。

いつの間にか譲る状態になっていましたが、川田末子さんが実践してやり方を示して下さいました。同時輪読を行いましょう。これは倫理の基本「相手に合わせる」の実践です。

実践報告

二班 ホン史子

会社でのCPR（心肺蘇生）

終了証の更新クラスの日が、私事で参加できない日でした。クラスは実技も含めて二時間で、参加すれば更新できます。

実技は大目にみるからオンラインコースをとるようにと、上司に言われました。十一月中旬に更新できなければ、更新できるまで仕事はできません。介護職はCPR終了証が義務づけられています。

そこで、『葉』十五条―信成万事―の実験をしました。オンライン試験にパスしなかったらどうしようかと不安感を抱くのではなく、「必ずパスする」と決意を固めて、オンラインコースを始めました。

朝五時から始めて六時間、絶対パスするのですからいいねいに勉強しました。コースの後の試験は満点でした。

決心を強く固め、信念を持って取り組めば、何事にも動ぜずに身も心も目標に向かっていくのだという体験から、『葉』第十五条が良く理解できました。



おめでと〜ございます

『しきなみ』十一月号

真砂集（西東京・海外）

入選 摺木洋子

『秋津書道』十一月号

競書

一席 滝川政和 人の部

入選 長谷川公子 高等部

入選 咲田静子 々

入選 堀井幸江 々

入選 梅本豊造 々

入選 草野律子 々

入選 前田グレース 々

入選 枡中恵美子 々

七席 竹内康子 々

入選 小倉治望 々

入選 ノーリスてるみ 々

(東京)

(東京) 行書

々 々 々 々 々 々 々 々 々 々

楷書



1席 滝川 政和

力強く堂々と書かれました。筆勢がすばらしい作品です。



7席 竹内 康子

永遠の生命

私達の目には見えないが、全てのものが一つにつながっている世界を創始者は「純一界」と呼びました。そしてこの目に見えない世界では時間や空間に隔てられることがないといえます。肉体はいつか亡くなり滅びるだろうけれども、その魂は「純一界」では永遠であるのです。

書は筆者の永遠の魂の現れたものです。言い換えれば書は筆者の永遠の生命によって、やはり永遠に生きているのです。

そのため古人の残した書の柔らかく大らかな線には、古人の広い心が生きているのです。また繊細で筆勢のある線には強い心が生きています。

私たちの書作品も同様に、未来に私たちの心をつなげてくれます。まだ見ぬ「孫」「曾孫」「玄孫」に私たちの心を、生命を届けるつもりで書に取組みましょう。

(『秋津書道』十一月号より)

しきなみ短歌

しその葉に千切り大根包む時ふたつは野菜のあっぱれ王者

塩出笑子

朝晩の寒さしのいで遅咲きの朝顔一つ窓越しに見ゆ 伊澤潤子

安静と医師に指示され我妻はあれしてはだめダメの連発 梅本豊造

会友と共に参加の清掃日何時しか十年達成感あり 梅本和子

散水にゆれる庭木のおこす風ほのかに秋の匂う夕ぐれ 門園美枝子

高処なる棗は夫が挽ぎくれる手伸ばし背伸びして届く枝 ホン史子

さ庭辺の両手に余す小菊の黄陽光集め希望の色はも 松永典子

外国の言葉も文化も乗り越えて奮闘中の若きママ達 草野律子

手術後は傷口今も痛みあり咳するたびに激痛走る 摺木洋子

秋風が吹いてひらひら落ち葉舞い水面に浮かびゆらゆら揺れる 松元依子

花びらを八重に重ねて咲くバラの風格やはり花の王なり 滝川歌子

青々と天高く済む秋空にゆったり動く飛行船一機 奥本洋子

あかり消し窓わくごしに昇る月を独りで拝す今宵は中秋 杉野和子

四季のないロスアンゼルスで味わえる松茸ご飯は北米産なり 長谷川公子

下向きに恥らう如く咲いておりクリスマスローズとふ地味なる花は 伊勢田豊

いつからか恐怖を抱きしいかずちの光瞬くを見つむる窓辺 矢口裕司